

事業計画の概要

まず令和4年度を振り返りますと、新型コロナ禍が続く当クラブの活動に引き続き大きな影響を与えましたが、クラブ員・指導員は感染対策に協力し素晴らしい活動をしてくださいました。夏休み創意工夫工作教室に延べ1270名のクラブ員が参加し、434点の創意工夫作品を完成しました。「夏休み創意工夫工作作品展」をリアルで開催し延べ1200名のクラブ員や保護者の方が来場され展示作品を熱心に見学いただきました。

各種コンテストへの参加も例年通り行い、以下の通り優秀な成績となっております。

- ・OM (Odyssey of the Mind) 2022 世界決勝大会はバーチャル大会に参加して**総合1位金メダル**を獲得しました。
- ・あいち少年少女創意くふう展 2022 では、4位愛知県知事賞、9位愛知県発明協会会長賞、11位愛知県教育委員会賞、13位日本弁理士会東海会会長賞、14位中部日本弁理士倶楽部賞と5名が入賞し、全国展へ3名が進出する素晴らしい活躍を遂げました。
- ・第53回市村アイデア賞で市村アイデア記念賞2点、市村アイデア賞奨励賞4点、佳作8点、努力賞16点と昨年以上の成績を納める活躍でした。東京での表彰式に出席したクラブ員は作品発表して直に賞状をいただき嬉しそうでした。
- ・第25回エネルギー利用技術作品コンテストで、**全国1位**技術教育学会会長賞、2位優秀賞2名、3位優良賞2名、4位奨励賞5名と10名のクラブ員が上位賞を独占する素晴らしい活躍で有終の美を飾っていただきました。
- ・第81回全日本学生児童発明くふう展では**特別賞 WIPO 賞**1点、入選2点と好成績をあげることができました。

令和5年度の事業につきましては、新型コロナの落ち着きも見通せるため、イベント開催の復活など積極的に活動を行います。運営費の主原資はトヨタグループ各社からのご寄付に加え、刈谷市からの補助金および一般財団法人石田退三記念財団や地元企業等からのご寄付となっております。会員数は1,100名程度を維持し日本一の規模となっております。収支バランスを考慮して経営の健全化を進めます。

当財団の設立目的であります「次代を担う児童又は青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、創造性豊かな児童又は青少年の育成に寄与する」ことを推進するため、事業のより一層の充実を図ります。

以下、令和5年度の事業計画内容を説明します。

1. 刈谷少年少女発明クラブ事業（刈谷市以外の希望者も受け入れ）

(1) 工作技能育成教室：（一人当たり年間10講座）1講座3時間

小学2年生から中学3年生までを学年別クラス編成します。

能力に適した材料・道具を使いこなせるようなカリキュラムに沿って紙工作、木工工作及び電気電子工作やプログラミングなどを指導します。

- ・基礎コース1（小2）、基礎コース2（小3）

- ・中級コース1（小4）、中級コース2（小5）、中級コース3（小6）
- ・上級コース1（中1）、上級コース2（中2）、上級コース3（中3）

(2) 入門コース（一人当たり年間10講座）1講座1時間30分

刈谷市施設「夢と学びの科学体験館」で小学1年生を対象に、紙工作中心の講座を年間一人当たり10回開催します。

(3) 創意工夫工作教室：（土曜日午後・日曜日に開催、何回でも参加可）

子供たちが創造性を発揮させながら自分のアイデアに基づいた作品を作ります。図面作成・材料選択・製作・完成発表までを指導します。

(4) OM教室： ※Odyssey of the Mind の略（世界青少年創造性競技大会）

OM基礎コースとOMコースがあります。新型コロナウイルスのため世界大会参加中止やリモートでのバーチャル大会への参加が続きましたが、本年は5月にアメリカミシガン州立大学で行われる「2023OM世界決勝大会」へ4年ぶりに参加します。本年の長期課題は「海賊と宝物」です。課題の精神は、チームが、盗まれた宝物を取り戻してクイーンズキングダムに戻すという、海賊たちの一団について独創的なパフォーマンスをすることです。チームは、海賊船としての乗ることができるビークルを設計し制作します。昨年10月から新チームを結成し毎週日曜日に活動訓練しています。また当日課題についての想定訓練を行います。また英会話研修、発想法研修、チームワーク養成等も行います。

OM基礎コースはOMコースを希望する準備コースとして、小学6年生から中学1年生の希望者を受け入れます。内容は創造力育成訓練と英語による自己紹介練習、プログラミング教育、チームワーク育成等を行います。

(5) チャレンジ創造コンテストコース：

発明協会が主催する1チーム2～3名でからくりパフォーマンスを競う大会です。全国大会は3年間中止でしたが、昨年は刈谷地区大会を開催いたしました。本年は全国大会出場を目指し刈谷地区大会を開催します。

2. その他協力事業

愛知県経済産業局や刈谷市教育委員会、刈谷市理数大好き推進協議会、愛知県発明協会などからの依頼により出張工作教室を開催します。

3. 指導員研修

カリキュラム開発・指導法習得のためいろいろな機会を捉え、研修に参加いたします。（愛知県や愛知県発明協会が主催するセミナーなどに参加）

4. 広報活動

4-1. 刈谷少年少女発明クラブ機関誌の発行

(1) 月1回クラブ員活動紹介の「アイデアニュース」を発行します。

(2) 令和4年度の活動内容をまとめた「記録2022」を発刊します。

4-2. ホームページ

事業内容の詳細を記述した事業紹介、クラブ活動状況、募集情報、入賞作品等を掲載し、子供やその保護者に必要な新しい情報を提供します。

5-1. クラブ員数

令和5年度のクラブ員数は、前年と同数の1,112名の見込みです。

男女比率としては、男性約7割・女性約3割となっております。

内訳

*市外比率16%

学年	新規	継続	令和5年度	(市外)	令和4年度
小1	260	—	260	(23)	240
小2	44	192	236	(31)	267
小3	22	198	220	(39)	188
小4	12	137	149	(33)	175
小5	2	119	121	(31)	105
小6	6	59	65	(11)	84
中1	0	25	25	(7)	23
中2	0	14	14	(3)	31
中3	0	22	22	(5)	14
計	346	766	1,112	(183)	1,127

5-2. クラブ員数推移

平成26年度487名であった会員数は、積極的なPR活動、ロボットプログラミング教育などの先進的かつ魅力的な授業の導入、また各種コンテストでの優秀な成績などが実を結び、令和5年度は約2.3倍の1,112名で日本一の数です。

